

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				65
	客観性 : 思考的思慮深い				50
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				46
	気分性 : 感情のまま行動				38
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				53
	規則性 : 常識的・順法的				51
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				48
	自尊心 : 気が高い				45
自制型	慎重性 : 見通しをつける				53
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				42

この人の中心性格は「思索・内閉性」および「努力・持続性」であるが、「自制・慎重性」や「努力・規則性」といった側面も本人は意識している。

「思索・内閉性」及び「努力・持続性」の人のパーソナリティスケッチ

ものの見方は主観的ではなく客観的に判断し、自分に対しても客体化した見方ができる。もともと人とのかわりを望んでいるほうではなく、友達などおしゃべりするよりは、芸術の世界などに閉じこもり、その中で生きていたい、ひとりで落ち着いていることが好き、というのが本音である。また、地道に堅い生活を送っている人で、何事においてもマメで、手を抜かずコツコツと丹念に取り組んでいこうとする。努力家でもあり、手掛けたことは最後まで大事にして、時間をかけても自分が納得するまであきらめない、長距離ランナー型といえる。長時間同じことをする職務を任されても、対外的にあまり文句を言うことがない。それでいて、それほど規則や秩序にこだわらず、状況に応じた判断をしようとする。行動や見た目に現れないとしても、世間の常識はわかまえている。コチコチな規則型人間といったほどではなく、発想も固定的なものばかりではない。性格的に派手さはなく、極端に目立つことはないが、周囲からは信頼されていたりもする。

もう一方の性格特性

気分屋ではなく、情緒的には安定していて、いつも一定のリズムをもって生活している。手がけた仕事を途中で放りだすといった気分屋的なところがなく、発想も堅実である。感覚的な判断ではなく、理詰めの考え方をとる。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数	
日常周辺事型				23	俗世間的な事に興味が無い。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型				57	物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
社会・経済型				53	
心理・情緒型				40	人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。
審美・芸術型				74	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				46
協調性				52
責任感				55
自己信頼性				53
指導性				53
共感性				50
感情安定性				70
従順性				58
自主性				42
モラトリアム傾向				50

自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとうとする。

多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。反抗的なところは少なく、人の意見や指導に素直である。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				60
親和 欲求				54
求知 欲求				50
顕示 欲求				55
秩序 欲求				52
物質的欲望				57
危機 耐性				57
自律 欲求				46
支配 欲求				56
勤労 意欲				52

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

仲間と競いあっていくより、穏やかな環境の中にいたい。

自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。

モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。

人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。

この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【本人の性格特性】

印が本人の位置

強

活動型

弱

弱 思索型 強

強

努力型

弱

弱 思索型 強

強

努力型

弱

弱 活動型 強

強

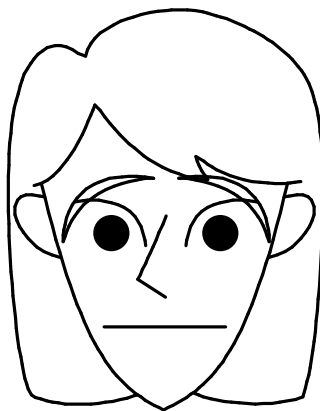
慎重型

弱

弱 積極型 強

【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求 + 求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求 + 協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気	管理・対人能力	思考能力
積意根責決指リ自調折独現洞企專情 極欲気任断導 己整衝創状察画門報 実熱強感勇力ダ信力力斬分力立知活 行意さ気 頼新析案識用		
B B B C	C A A B B C	D C B B D D
B	B	C

【採用判定】

定着性・安定性 = 9

CUBICの判定結果 = 「配置先の検討必要」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		48
(2) 海外など精神力の必要な職務		46
(3) 足腰のよさが武器になる職務		35
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		55
(5) 標準化された仕事や工場労働		48

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (2) 「適度」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (3) 「適度」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (4) 「小適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (5) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (6) 「努力」営業など対人的接触をとまう仕事

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」基礎研究者
- (2) 「適切」基礎研究管理者
- (3) 「適度」企画専任者
- (4) 「適度」研究開発者
- (5) 「適度」経理専任者
- (6) 「適度」企画管理者

《低い順》

- (1) 「努力」営業管理者
- (2) 「努力」人事管理者
- (3) 「努力」営業専任者
- (4) 「努力」人事専任者
- (5) 「小適」秘書専任者

【判定結果E】配置適性2

- (1) 「最適」品質管理
 - (2) 「適切」基礎研究
 - (3) 「適切」編集校正
 - (4) 「適度」経理
 - (5) 「適度」経営企画
 - (6) 「適度」購買
- (1) 「努力」受注窓口
 - (2) 「努力」営業（慎重タイプ）
 - (3) 「努力」人事
 - (4) 「努力」営業（持続タイプ）
 - (5) 「小適」秘書